

市民1人当たり 1世帯当たり

予算額 446,669円 予算額 887,782円

基礎となる数値(令和8年1月31日)
人口78,604/世帯39,548

会計名	令和8年度	令和7年度	増減率	
一般会計	351億1,000万円	358億7,000万円	△2.1	
特別会計	176億7,700万円	170億9,200万円	3.4	
国民健康保険事業勘定	82億700万円	83億8,000万円	△2.1	
国民健康保険直診勘定	4,600万円	5,600万円	△17.9	
介護保険会計	77億2,500万円	72億8,200万円	6.1	
後期高齢者医療会計	16億9,900万円	13億7,400万円	23.7	
一般・特別会計合計	527億8,700万円	529億6,200万円	△0.3	
農業集落排水事業会計	収益的収入	4,334万7千円	3,282万円	32.1
	収益的支出	3,645万9千円	4,299万3千円	△15.2
	資本的収入	1,448万6千円	1,425万3千円	1.6
	資本的支出	1,448万6千円	1,425万3千円	1.6

令和8年度の予算を紹介します

令和8年度の一般会計予算は、高齢者や障がいのある方、子育て世帯などにしっかりと寄り添う予算としました。一方で、財政調整基金への依存を最小限にとどめるとともに、すべての事業を見直す財政規律と未来への投資を両立させました。これらにより予算規模は、351億1千万円、対前年度比7億6千万円の減額となりました。



※市ホームページに予算概要などを掲載しています

歳入

回復基調が続く景気を背景に、市税で5億4,500万円の増加を見込んでいます。併せて国や県の支出金、市債の活用など、あらゆる財源を確保しました。

歳出

経常的経費は増加傾向にあることから、全事業を対象に有効性・必要性を徹底的に精査し、縮減を図りました。投資的経費は、大和田・坂田小学校統合施設整備事業が完了したことなどから、減少しました。

特集 令和8年度 施政方針 & 予算概要

挑戦をかに新しい君津へ

君津市の将来都市像「ひとが輝き 幸せつなぐきみつ」の実現に向け、多様な「むすび」を強めながら君津の未来を創っていきます。今年度、君津市が取り組んでいく事業を紹介します。



君

津市の将来都市像「ひとが輝き 幸せつなぐきみつ」の実現に向けて

策定された総合計画は、令和8年度に前期基本計画の最終年度を迎えます。令和8年度は前期基本計画の取り組みを総括し、残された課題を整理する総仕上げの年であり、令和9年度から始まる後期基本計画への円滑な移行に向けた基盤を整える重要な年度です。

市民の声、市の財源や人材を最大限に活かしつつ、施策の点検・客観的な評価を行い、市民生活の質の向上や将来都市像の実現につながる分野へ重点的に資源を投入していきます。

4・5ページでは、まちづくりの重点取組施策として、中長期的な視点で行う「未来への投資」の3つの取り組みを紹介しています。千葉ロッテマリーンズのファーム本拠地となるボールパークの整備をはじめ、内みのわ運動公園のリニューアルや日本ウェルネススポーツ大学君津キャンパスの整備支援という大きな事業を予定しています。特にボールパーク



今年度の施政方針を述べる石井宏子市長



整備への投資は未来の負担ではなく、未来の資産をつくらせていくものです。都市の魅力向上やにぎわいの創出、交流人口の拡大など、ボールパークを核とした持続可能なまちづくりを進めていきます。

6・7ページでは、令和8年度に取り組んでいく事業を総合計画に掲げる5つの柱ごとに紹介しています。

2月17日の令和8年第1回定例会で石井宏子市長が示した今年度の施政方針と予算概要の全文は、市ホームページや中央図書館で見ることができます。



重点取組施策①

ボールパークを整備して
まちづくりを推進!
(予算: 4億9,687万3千円)

令和7年4月に千葉ロッテマリーンズと締結した協定をもとに、施設の整備を進めています。

令和8年
3月末時点の
イメージです

誰でも利用できる都市公園として整備します。プロ野球チーム公式戦の野球場を整備するだけでなく、試合がない日も野球以外のことを楽しめる地域に開かれたボールパークとして整備し、災害発生時には広域避難場所や支援拠点としても利用していきます。さらに駅周辺エリアを含む新たなまちづくりを展開し、関係交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげます。



若者の定住
交流人口・にぎわい
を生み出す!

3つの投資



重点取組施策②

内みのわ運動公園を
リニューアル!
(予算: 2億1,527万6千円)

子どもから高齢者まで多様な世代が集い、交流できる魅力ある公園として民間活力を導入した整備を進めます。



【施設完成イメージ・全体図】

リニューアルの概要

コンセプト: 使われ活きる公園

- ▼ 老朽化した施設の更新、プールの解体撤去工事
- ▼ カフェや飲食店の誘致
- ▼ 子どもの遊び場や気軽にスポーツができる場所の整備



今後の予定

令和10年4月以降順次オープン予定

事業の概要

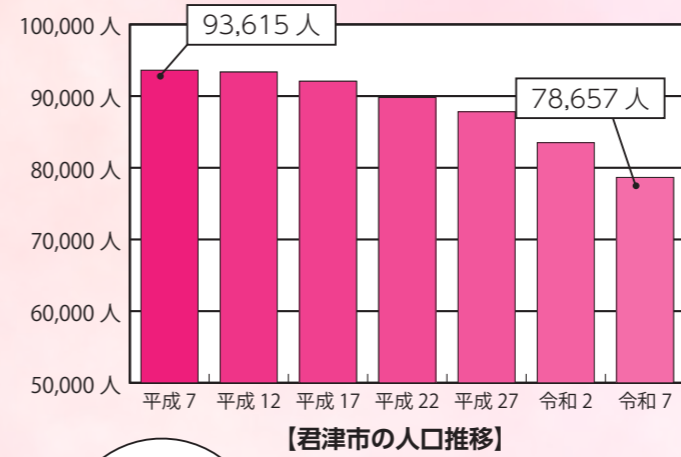
建設予定地=貞元・中富地先
開業時期=令和12年1月(予定)
主な設備=野球場(スタジアム)、野球場(グラウンド)、クラブハウス、屋内練習場
今後の予定=
▼ 令和8年: 用地取得、整備事業者選定 ▼ 令和9年: 造成工事、建物設計 ▼ 令和10年から11年: 建物工事 ▼ 令和12年: 開業

費用負担を軽減!

整備費用には、国などの補助金や球団からの使用料、寄附金などを活用し、財源の確保に取り組みます。

周辺地域とも連携!

周辺地域とも連携し、ボールパークを新たな観光ハブとして南千葉(君津・安房・夷隅地域)全体の活性化を目指します。



5年前と比較し、扶助費は約20億円も増加しています



年度	金額	構成比
令和3年	64億2,032万4千円	18.7%
令和4年	69億5,593万円	19.3%
令和5年	73億2,292万円	20.4%
令和6年	77億3,294万4千円	21.7%
令和7年	83億5,019万5千円	23.3%
令和8年	85億1,063万7千円	24.2%

【当初予算における扶助費の推移】

令和8年度一般会計予算は、徹底した行財政改革により令和7年度と比較し、7億6千万円減少しています。一方で、社会保障費などの義務的経費(簡単に削減できない固定的な経費)の増加により、財政の硬直化が進んでいます。

君津市の現状

全国で少子高齢化が進んでいす。厚生労働省が2月に公表した人口動態統計では、2025年の日本全体の出生数が70万5,809人となり、10年連続の過去最低となりました。君津市も例外

幸せつなぐ

未来への投資

令和8年度の重点取組施策



でなく、昨年一年間に生まれた子どもは358人と、少子化が進んでいます。

未来を切り拓くために 重点的に取り組む施策

人口減少が進み厳しい財政状況の中でも、市民生活を守り抜き、市の未来を切り拓いて行かなければいけません。そこで令和8年度は、中長期的な視点に立った「未来への投資」を重点取組施策として位置づけ、ボールパーク整備、内みのわ運動公園のリニューアル、私立大学整備支援などをまちづくりの原動力としていきます。財政状況の厳しい中で、これだけ大きな事業に挑戦するには理由

重点取組施策に挑戦する理由

その1: 交流人口の拡大!

駅周辺やボールパークまでの通り沿いをはじめとした周辺地域には多くの人が集うだけでなく、球場では試合がない日にもイベントを実施し、年間を通じて市内外からの人の流れが生まれます。さらに、大学へ通う若い世代、そしてそこで働く人たちの転入と市外への人口の流出の抑制にもつながります。



その2: 大きな経済効果!

施設整備による建設業界への経済効果、学生や大学職員の転入による地元消費の底上げが期待されます。経済の活性化で市の税収増が期待されます。



があります。1つは交流人口の拡大です。若者や子育て世帯が増えれば地域コミュニティが活気づきます。地域ににぎわいが生まれることで経済も元気になります。2つ目に、経済効果です。経済が元気になることで市の税収も増えます。税収が増えることで、より多くの事業を展開することができるようになります。重点取組の詳細は、次のページで紹介しています。6・7ページでは市民生活に寄り添うさまざまな事業を、5つの柱ごとに紹介します。

柱 3：安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち

子育て世帯を支援！

きみつ赤ちゃん応援パック事業：
1,701万4千円

紙おむつなどの育児用品の配達や相談支援を行い、子育て世帯の負担軽減を図ります。また、地域や市内企業と連携した交流イベントを実施して子育て世帯の交流の輪を広げていきます。



ICTを活用して教育環境を充実！

ICT活用推進事業：
4億477万7千円

児童生徒の情報活用能力を育成するために、教育ネットワークシステムの充実と、ICTを活用した教育の推進を図ります。



市民文化ホールの設備を改修！

市民文化ホール改修事業：
5,128万2千円

昨年開館35周年を迎えた市民文化ホールの施設、設備の機能を維持するための改修を行い、安全・安心に利用できる環境整備を行います。



「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」の実現を目指す！

令和8年度

市民生活に寄り添う取り組みを紹介します！

今年度実施する事業の一部を、総合計画に位置づけた柱(テーマ)ごとに令和8年度当初予算額と合わせて紹介します。当初予算の全文や、その他に取組む事業は、市ホームページなどで紹介しています。



- 総合計画について：企画調整課 ☎(56) 1206
- 当初予算について：財政課 ☎(56) 1635
- 組織の再編について：総務課 ☎(56) 1481

【令和8年度市の組織の再編など】

- 財源を確保し積極的な財政運営を進めます！
- 経済振興課のふるさと応援寄附金業務と、企画調整課の企業版ふるさと納税業務を財政課に集約
- 財産の売却を進めるため、普通財産(不動産)の利活用に関する事務を管財課へ移管
- ファシリティマネジメント※を推進！
- 拠点施設の整備に関する事務を公共施設マネジメント課へ移管
- ※建物や設備を少ないコストで最大の効果が出るよう管理する取り組み
- スポーツを活用したまちづくりを推進！
- 水上スキーを通じた地方創生を推進するため、水上スキーに関する事務を健康スポーツ課に移管

柱 4：快適で安心して暮らせるまち

交通安全に対する意識を向上！

交通安全対策推進事業：
318万3千円

幼稚園、保育園、小中学校、シニアクラブなどを対象に、交通安全教室を開催します。



空き家の解体費用の一部を補助！

空き家等解体補助事業：
320万円

周辺の生活環境に悪影響を与える可能性のある危険な空き家の除却を促すため、解体費用の一部を補助します。



災害に強い地域を作る

地域防災力向上事業：
83万2千円

地域の防災リーダーを育成するため、災害対策コーディネーター養成講座をはじめとした各種講座を開催するほか、新規に設立した自主防災組織に、必要な資機材等を交付し、地域の防災力向上を図ります。



柱 1：経済と環境が調和したまち

新たな企業を誘致！

企業立地促進事業：
3,819万9千円

かずさアカデミアパークに進出する企業への伴走的支援を行うほか、企業の進出や設備投資を促進し、就業機会の拡大、定住人口の増加や地域経済の活性化を図ります。



有害獣による農作物の被害を防止！

有害獣捕獲等促進事業：
7,494万9千円

有害獣(サル・イノシシ・シカなど)による農作物被害を防止するため、関係団体と連携して捕獲などの対策を図ります。



省エネ設備の導入を補助！

住宅用省エネルギー設備等導入促進事業：953万4千円

蓄電池や電気自動車など、地球環境にやさしい設備の導入費用の一部を助成することで、家庭での地球温暖化対策の推進を図ります。



柱 5：ともに創る次世代につながるまち

市民生活のさまざまな悩みを解決！

市民相談事業：
148万3千円

法律相談や、市民相談などの各種相談を実施します。市民のさまざまな相談に対して適切な助言を行い、市民福祉の増進を図ります。



市民協働によるまちづくりを推進！

市民協働のまちづくり推進事業：
376万8千円

市民活動の推進や市民活動団体などの連携にかかる取り組みを実施するほか、市民が主役のまちづくり事業支援補助金による活動の支援を行います。



住民主体のまちづくりを支援！

地域づくり協議会支援事業：
338万円

地域・住民が主体となってまちづくりや地域課題の解決に取り組む地域づくり協議会の設立を支援し、持続可能な地域づくりを推進します。



柱 2：誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち

複雑化する支援ニーズに対応！

生活困窮者等自立相談支援事業：
3,820万1千円

生活に困窮している方の相談を受け付け、一人一人の状況に合わせて、就労の支援、家計の立て直しの支援、住居確保給付金の支給等を行う。



がんの早期発見のために検診を実施！

各種がん検診事業：
6,062万7千円

各種がん検診を実施します(詳細は、8ページに掲載)。一部検診の有料化による財源を活用して、受診勧奨を充実させ、受診率の向上を図ります。



郡ダムの湖面を活用

郡ダム湖面活用推進事業：
73万5千円

郡ダムの湖面を水上スキー競技に活用することで、イベントの開催や日本選手権の誘致に取り組み、交流人口・関係人口の増加による地域活性化を図ります。

